



「一心不乱に、オレのイノチを打ちこんだ仕事をやりとげればそれでいいのだ。」

耳男は兎のように長い耳を持つ20歳の青年で、飛騨随一と言われる匠の弟子である。アナマロに導かれ、師匠の代わりに夜長の里の長者のもとへ赴くが、それは名高い三人の匠に腕を競わせ、まだ13歳の夜長姫のために護身仏を彫らせるだった。

「好きな物は咒うか殺すか争うかしなければならないのよ。

お前のミロクがダメなものそのせいだし、

お前のバケモノがすばらしいのもそのためなのよ。

いつも天井に蛇を吊して、いま私を殺したように立派な仕事をして・・・」

無邪気さと残酷さを併せ持つ長者の娘・夜長姫と耳男を中心に説話風に語られる、坂口安吾の傑作・幻想小説。

おとがたり 女優・長浜奈津子とヴァイオリン奏者・喜多直毅による朗読ユニット。首都圏を中心に意欲的に活動を行なっている。物語の持つファンタジーを声や楽器の音を通して空間にありありと描き出すために、即興的に互いの間・抑揚・言葉に反応しながら進行するパフォーマンスは臨場感にあふれ、聴く人はまるで物語の中に居合わせるかのような印象を抱く。来場者はもとより、文学研究者からも高い評価を得ている。

長浜奈津子 桐朋学園演劇科卒業後、劇団俳優座へ。女優・朗読家。2016年から市川市文学ミュージアム「市川荷風忌」へ三味線語りで出演。ヴァイオリニスト喜多直毅氏との朗読ユニット「おとがたり」では『溼東綺譚』他、永井荷風作品を多数上演。六本木ストライプハウス「朗読空間」では、泉鏡花『高野聖』『外科室』他、坂口安吾『桜の森の満開の下』『夜長姫と耳男』、小川未明『赤い蠟燭と人魚』、小泉八雲怪談、宮澤賢治の詩と童話、他多数。「女優の語り」として物語の登場人物を演じれば、声のみで言葉や物語を聞き手に読み渡す。

<http://www.nappy-cantactriz.com>

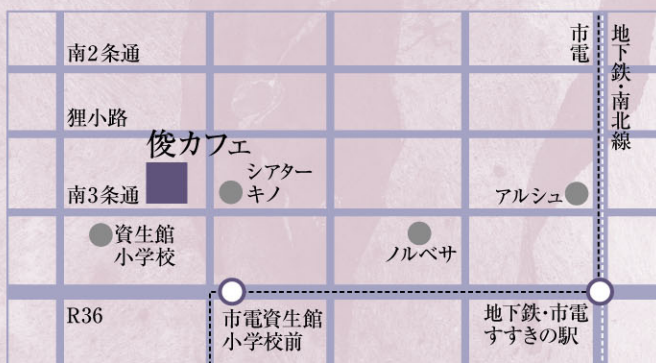
喜多直毅 国立音楽大学卒業後、英国にて作編曲を、アルゼンチンにてタンゴ奏法を学ぶ。現在は即興演奏やオリジナル楽曲を中心とした演奏活動を行っている。タンゴに即興演奏や現代音楽の要素を取り入れた「喜多直毅クアルテット」の音楽は、そのオリジナリティと精神性において高く評価されている。他に黒田京子、齋藤徹との演奏や邦楽・韓国伝統音楽奏者・現代舞踏家との共演も数多い。欧州での演奏も頻繁に行う。我が国に於いて最も先鋭的な活動を行うヴァイオリニストの一人である。<http://www.naoki-kita.com>



札幌 2022年8月5日(金) 18時30分開場 / 19時開演
入場料 前売り¥3,000 当日¥3,500 (共にドリンク付)
俊カフェ 北海道札幌市中央区南3条西7丁目4
Kaku imagination 2F

ご予約・お問合せ Tel: 011-211-0204 (俊カフェ)
nappy_malena@yahoo.co.jp (長浜)

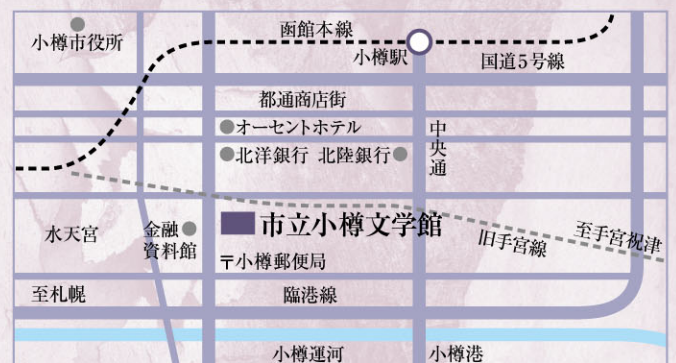
※件名に「おとがたり予約」、メール本文に《8/5 札幌公演》《代表者氏名》
《人数》《連絡先電話番号》を必ずご記入の上、お申し込み下さい。



小樽 8月7日(日) 18時30分開場 / 19時開演
入場料 前売り¥1,500 当日¥2,000
市立小樽文学館 北海道小樽市色内1丁目9-5
Tel/Fax 0134-32-2388

ご予約・お問合せ Tel: 090-3339-1281 (長浜)
nappy_malena@yahoo.co.jp (長浜)

※件名に「おとがたり予約」、メール本文に《8/7 小樽公演》《代表者氏名》
《人数》《連絡先電話番号》を必ずご記入の上、お申し込み下さい。



おとがたり北海道ツアー2022 札幌・小樽 / 演目「溼東綺譚」永井荷風

8月4日(木) 函館公演「函館市民会館」19時開演
●ご予約・お問合せ Tel: 090-3339-1281 (長浜) nappy_malena@yahoo.co.jp (長浜)

8月6日(土) 室蘭公演「港の文学館」14時開演
●お問合せ Tel: 0143-22-1501 (港の文学館)

design: yamasin(g)